

SEISAKU DB（政策DB） プレスキット

企業の政策接点と公的支出を、AIから横断分析できる政策データインフラ

2026年6月9日 公開 / カボシア株式会社 (Cabocia Inc.)

サービス概要

SEISAKU DB（政策DB）は、日本の国会発言・行政事業・補助金・公共調達・経済安保認定を企業に紐付けた政策データインフラです。政府が公開する各データは共通の企業IDで結ばれておらず、受領者名の表記ゆれもあって企業単位では追えませんでした。SEISAKU DBは支出先を法人番号で名寄せし、AIから直接使える形（API・MCP）で横断提供します。カボシアのコア事業「日本データインフラ」の第4弾です（EDINET DB/FUDOSAN DB/BOUSAI DBに続く）。

公開時点のデータ規模（2026年6月3日 本番実測）

データ	規模	内訳・補足
全法人の公的支出	¥24.0兆 / 1,702社	行政事業レビュー×法人番号。企業向け純額・5年（通過分除外後の下限値）
国会発言	約26万件	2024年1月～の会議録
補助金	3,487件	Jグランツ等（募集中は日次変動）
競争的研究費	31,676件	KAKEN/AMED/NEDOを14テーマにAI分類
経済安保認定	114件	蓄電池/半導体/航空機/クラウド等
GPIF保有銘柄	18,470件	2025年3月末。取込評価額 約¥244兆
API / MCP	REST 23本 / MCP 31ツール	全画面・全データに対応

出典：行政事業レビュー/国会会議録/e-Gov/Jグランツ/経済産業省/KAKEN・AMED・NEDO/GPIFほか

主要機能

- 議論×予算ギャップの可視化 — 20の政策テーマで、国会発言量と行政事業予算の差をテーマ単位で定量化。「語られるほど予算がつくわけではない」を数字で示す。
- 全法人の公的支出 名寄せ — 税金・補助金・公共調達・経済安保を法人番号で束ね、「どの企業が国からいくら受け取ったか」を事業名・省庁・年度の一次データまで遡れる。
- 年金GPIF×経済安保 — GPIFの保有銘柄と経済安保認定を物資別にクロスマッピング。「国の認定」と「年金の保有」の二重の接点を可視化。
- 4つの公的資金ソースを横断 — 任意の法人番号で、補助金採択/落札・契約/政府調達・委託/競争的研究費を一画面に横断表示。
- AIネイティブ設計（API/MCP） — ChatGPT・Claude等のMCPコネクタに接続するだけで、AIが出典付きの構造化データを直接参照。記事ではなく裏が取れるデータを返す。

料金プラン

プラン	月額	日次リクエスト上限	対象想定
Free	¥0	100	個人・お試し・AIユーザー
Pro	¥4,980	1,000	個人・スモールビジネス
Business	¥29,800	10,000	コンサル・自治体ベンダー
Enterprise	個別見積もり	要相談	省庁ベンダー・シンクタンク
Academy・NPO（予定）	¥0	1,000	大学・研究者・非営利

APIキーはGoogleアカウントでセルフサブ発行。公開当初のβ期間（2026年6月9日～）はPro相当（日次1,000）を無料で開放。

会社概要・お問い合わせ

社名：カボシア株式会社 (Cabocia Inc.) 代表者：小池 陸 所在地：東京都
事業：日本データインフラ (EDINET DB / SEISAKU DB / FUDOSAN DB / BOUSAI DB)
サービスURL：https://seisakudb.jp 会社URL：https://cabocia.jp X：@seisakudb
お問い合わせ：seisakudb@cabocia.jp